

令和5年度マイスター・ハイスクール事業 成果発表会 講評シート

学校名(山梨県立農林高等学校)

1. 取組についての評価

マイスター・ハイスクールCEOの白石氏(岩崎醸造社長)が地域ワイン業界の若手リーダーとして本拠点を上手く取り纏め、出口戦略まで含めた設計を行い実践・推進している点を評価する。
オリジナルワイン「17ans」を県内酒販店で販売し、ふるさと納税の返礼品に採用させるなど実践的なカリキュラムの成果が現れている。
また、授業の評価方法としてルーブリック評価を導入し効果をあげていることも確認できた。
令和6年より、農業高校では初めてとなる大学以上レベルの専門的な「ワイン学」を開講していくことや、学校独自の認定制度「Junior Wine Grower」を創設し新たな価値を創造する職業人材の育成を目指すなど積極的な新たな取組にチャレンジしている点は大いに評価できる。

2. 今後の課題と考えられること

コミュニティ・スクールへの移行や甲斐市との包括連携協定などを検討しているとのことであるが、気候変動などの影響で山梨の主力産業であるワイン産業は大きな岐路に立たされていると聞いており、地域全体で特色のある実践的なワイン教育を自立・継続していく仕組みづくりを取組むことに期待したい。
アンケート調査で、生徒のワインに関する関心度の深まりやワイン産業への就労への関心が高まっていることからこの事業の継続・発展を期待する。